

静岡・ハットパーク用宗

東棟を今秋開業

CSA不動産 観光回復見込み

CSA不動産（静岡市葵区）が今秋、同市駿河区用宗に商業施設「ハットパーク用宗」東棟を開業する。アイワホールディングス（同市葵区）との協業で、訪日観光客数の回復などを見込み、地域の観光資源充実に努める。

西社は2021年、海岸沿いに位置する旧水産加工場跡地にハットパーク西棟

を開業。新型コロナウイルス禍でも近隣県などからの来客は堅調で、雑貨店やカフェなどのテナント入居が進んだ。22年に延期していた東棟建設を決め、同年12月に着工した。

東棟は2階建てで延べ床面積が約6200平方メートル。アイワホールディングスが土地・建物を所有して建設し、CSA不動産が設計、

賃賃を担う。全8区画に料理店やアパレル店などが入居予定という。

CSA不動産は17年、昔ながらの建築物や路地が残る用宗周辺の開発に本格的に着手した。古民家を再生した宿泊施設「日本色」や県産食材のジェラート店、クラフトビール醸造所を併設する温泉施設などを相次

いで開業し、地域のにぎわい創出につなげてきた。

23年に入って静岡空港の国際線連航再開が決まるなど、訪日旅行需要の回復に期待が高まる。同社の小島孝仁社長は「地域住民や国内外の観光客など幅広い層に楽しんでもらえる施設にしたい」と話す。
(経済部・平野慧)

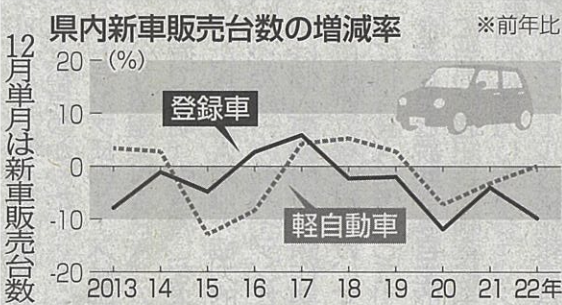
新車販売最低 7万7357台

22年 9.8%減、半導体不足

日本自動車販売協会連合会がまとめた2022年の県内新車販売台数は前年比9.8%減の7万357台と、過去20年

の8351台、特種・特殊231%減の1271台、バス20.9%減の87台だった。同支部の担当者は「9月以降は持ち直しつつあるが、8月以前の前年割れを補えなかった」と語った。

カー別はスズキ3.5%減の2万5599台、ダイハツ2万1221台（0.3%減）、ホンダ1万5457台（8.1%増）。同協会の担当者は「新型コロナウイルスや部品不足が響い



「観光再生の年に」

旅行業3団体

県内の旅行業3団体が11、12の両日、賀詞交歓会を静岡市内で相次いで開き、新型コロナウイルス禍で落ち込んだ観光業の巻き返しを誓った。

県旅行業協会と全国旅行業協会県支部は合同で開催し、遠藤勝久県旅行業協会長は「コロナ感染防止策を十分に講じながら、さまざまな旅行を再開し、県内業界の活力を取り戻したい」と抱負を語った。

日本旅行業協会中部支部、静岡地区委員会の会合で、竹内規夫委員長は静岡空港国際線の連航再開や県内が舞台の大河ドラマの放送開始を引き合いに、「コロナ禍は予断を許さない状況だが、業界に少しずつ明るい兆しが出てきている。真の観光再生の1年にしよう」と呼びかけた。

来賓として出席した出野



茶況